

TOEIC®テスト新形式問題について

TOEIC®満点講師 田中朝治

2016年5月のTOEIC®テストから実施された新形式問題の概要を説明します。

変更の背景

- ・英語コミュニケーション方法の変化に対応し、よりオーセンティック(実際の)な出題形式を採用する。
- ・今または将来の英語使用環境での英語運用能力を問うテストとなるよう、近年よく利用されるようになったコミュニケーション方法をテスト問題に取り入れる。

変更の具体内容

①テキストメッセージやチャットなどの新しいコミュニケーション形式の問題を加える。②複数(3人以上)の人々が参加する会話形式の問題を加える。③視覚素材(地図、グラフなど)と会話の情報等、複数の情報源から得られる情報を「紐づける」能力を評価する問題を加える。

Part別の変更点

	変更点	影響	対策
Part1	・問題数の減少(10問→6問)(内容は変更なし)	・比較的やさしい問題の減少	・従来通り
Part2	・問題数の減少(30問→25問)(内容は変更なし)		
Part3	・問題数の増加(30問→39問) ・視覚素材と会話(音声)情報の関連づけ問題 ・3名による会話問題 ・リアルな会話表現の採用 - 省略形(going to→gonna, want to→wanna) - 文の一部(Could you?などフレーズ表現) - 言いよどみや言い直し ・一部の会話表現の意図、暗示を問う問題	・図、表、レイアウト、クーポン、ラベルなどの視覚素材を含む「設問先読み」が難化 ・会話文は短くなったが、やりとりや形態が複雑になり内容把握が難化 ・生きた会話表現の理解が必要	・基本会話表現の増強 ・リアルで複雑な会話文の聴き取り訓練 ・やり取りの多い会話の展開を把握する訓練 ・TVや映画のリアルな会話の聴き取り ・視覚素材の先読みと予測
Part4	・視覚素材とトーク(音声)情報の関連づけ問題 ・リアルな口語表現の採用 - 省略形(going to→gonna, want to→wanna) - 文の一部(主語や動詞が省略された表現) - 言いよどみや言い直し ・トークの一部の表現の意図、暗示を問う問題	・図、表、地図、フォーム、グラフなどの視覚素材を含む「設問先読み」が難化 ・トークの流れを把握する聴解力が必要	・まとまった量のトークの展開を確認して聴く練習 ・視覚素材の内容を瞬時に先読みし、問題を予測する練習
Part5	・問題数の減少(40問→30問)(内容は変更なし)	・文法と語彙の問題数が減少	・従来通り
Part6	・問題文書と問題数の増加(12問→16問) ・レイアウトの変更(設問と選択肢が欄外に移動) ・空所に入る「文」を選択する問題	・全文通読による文脈理解が必要な問題が増加	・「速読力」の強化 ・「パラグラフ・リーディング」による文脈、展開の把握
Part7	・問題文書と問題数の増加(48問→54問) ・シングル・パッセージ問題の設問数の変化 ・複数名によるテキストメッセージやオンラインチャット形式文書 ・文書内に、「文」を挿入する位置を選ぶ問題 ・トリプル・パッセージ照合問題 ・チャット、テキストメッセージ中の一部の発言(表現)の意図、暗示を問う問題	・速読力、情報分析力が必要 ・考えさせる問題の増加で時間不足(拾い読みでは不十分) ・チャットは「会話・口語表現」の文字化(3人以上のチャット・ディスカッションの難化) ・「意図・暗示問題」、「文の位置問題」に文脈把握が必要	・新形式の解答手順効率化 ・問題パターンの予測 ・スラッシュ・リーディング ・チャットを聴くように読む ・スキミングによる通読 ・パラグラフ・リーディング ・語彙、頻出文、口語表現の増強

★更に詳しい講師のコメントは“あぜりあHP”をご覧ください。

英検Jr.の報告



6月21日～25日の週に、あぜりあらんぐえーじくる4校にて英検Jr.(旧・児童英検)を実施いたしました。ゴールドに18名、シルバーに33名、ブロンズに19名、合計70名のあぜりあKIDSがチャレンジしました。子どもの頃から英語のコミュニケーションを身に着けると、未来の世界が広がります。英検Jr.は、テストや英語に関する情報を通じて、広い世界で活躍する子どもたちの未来を応援します。児童向け「育成型ゲーム感覚」のリスニングテストは、全国規模で実施されることから、客観性の高い成績データが得られます。英語力をはかる意味でも、来年もまたチャレンジしていきましょう。ガンバレ！未来の国際人！



10月1日(土)開催 **あぜりあ Kids Happy-o Kai** は13:30受付開始予定です。